



広報 あじがさわ

2023

1月

No.620



《主な内容》

- ▽特集 児童生徒が被災した皆さんへ「こころの支援」
- ▽まちの取組 中学生版町民アイデア会議 開催
- ▽お知らせ 認定こども園・保育所新規入所児童募集 ほか

《今月の表紙》

鯉中3年生が和菓子作りにチャレンジ
詳細はまちのわたいをご覧ください

小・中学校から「こころの支援」

ことは何かを考え、被災された方たちを元気づけるため、「こころの支援」を行うことにしました。

鱒ヶ沢中学校「芸術鑑賞教室」へご招待



N響の皆さんと鱒中音楽部が共に演奏

鱒ヶ沢中学校（相馬治校長）では、11月14日に行われた芸術鑑賞教室に、被災された皆さんを招待しました。

芸術鑑賞教室は、NHK青森放送局とNHK交響楽団（以下、N響）が実施している出前授業『NHKこども音楽クラブ「N響がやってきた」』として行われ、N響の皆さんがバイオリンやビオラなどの弦楽器による生演奏を披露しました。

途中、N響の皆さんと鱒ヶ沢中音楽部と一緒に「千本桜」を演奏する場面も見られ、体育館にはバイオリンなどと共に三味線の音色が響き渡り、奏者に惜しめない拍手が送られました。

演奏を聞いた方からは「心休まるひと時だった。大変ありがたい」といった声が聞かれました。



曲の合間には演奏曲の紹介なども行われました



招待された皆さんも多くの拍手を送っていました

西海小学校「発表参観日」へご招待

西海小学校（川浪久和校長）では、子どもたちが元気に発表する姿を見てもらい、復興への励みとしてもらうため、被災された皆さんを12月2日の発表参観日に招待しました。

3年生の児童5名は元気にダンスしながら英語の歌を披露し、また、5年生の児童14名はリコーダー演奏を発表するなどして、全学年が日頃の授業の成果を堂々と発表しました。

読み聞かせグループで活動する方は「小さい頃、読み聞かせに参加してくれた子がどのくらい成長しているか気になって見にきた」と話していました。



劇の発表（2年生）



乗り物が大集合（1年生）



マット運動や跳び箱を披露（4年生）



町の今と未来を発表（6年生）

大雨災害で被災された皆さんへ

8月の大雨災害を目の当たりにした小・中学校の児童生徒が、被災された方たちのために自分たちが今できる本号では、それぞれの学校での取組を紹介します。

水害にあったみなさんへ

生活はおちつきましたか。
ぼくは、テレビで今回の水害の様子を知っていました。
テレビを見たときは、こんなに雨が降って水が上がってきたのは今まで見たことがなかったのととても驚きました。そして、近くの人は大丈夫かなと、とても不安になりました。
水害で家を失ったり、家のものがなくなったりしたみなさんには、希望をすてずあきらめずに、明るく楽しく生活することができればいいなと思います。



6年 工藤 暖大

舞戸小学校「応援レター」 ～被災された皆さんへ～

舞戸小学校（三橋豊校長）では、児童の発案で被災された皆さんへ向けた「応援レター」を送ることにしました。

被災された皆さんへエールを届けたいという全児童の思いを代表して、舞戸小児童会5名が「応援レター」を送ります。

5名のレターには、被災された皆さんへの励ましの気持ちや、9月10日にリトルJUMPチームとして活動した際に被災状況を聞いて感じたことなどが込められています。

笑顔あふれる町に

以前、運営委員会がリトルJUMPの活動で、被害にあった方々の家にお見まいにいきました。
そのとき、苦しい状況なのに、みなさんは笑顔でむかえてくれました。あのとき、なぜか、悲しい気持ちとうれしい気持ちが2つありました。被害を受けて片付けももう少しで終わろうとしているときでした。
被害を受けたみなさん、本当にお疲れ様でした。今度は、私たち子どもたちができないことがありませんか考えます。そして、鱈ヶ沢町をもっと笑顔あふれる町にしたいです。



6年 赤石 璃愛

支えてくれる人がたくさんいれば

リトルJUMPの活動をしたときに、被害にあった人たちの話を聞くと、水がここまでできていたのだなと思いました。
スーパーや飲食店などでも冷ぞうこがこわれるなどの被害で休業しなければならないなど被害が大きかったことがわかりました。
今では少しずつおさまってきているのでしょうか。みなさんの周りに支えてくれる人がたくさんいればいいなと思います。また、これからは元気に過ごすことができればいいなと思いました。



6年 神 紅葉

温かくやさしい言葉でいっぱい

お元気ですか。生活はおちつきましたか。家が住めなくなった人、家に水がたくさん入った人、大丈夫でしょうか。私も水害にあいました。家に水が入ってしまつてとてもショックでした。
だから、水害にあった人には、「大丈夫ですか」「元気が出てきましたか」「心配なことはありませんか」と温かくやさしい言葉でいっぱいにしてあげたいです。そうすると元気づけられる人がたくさんになると私は思います。



5年 岩本 妃生

温かいエールを

8月に鱈ヶ沢では大きな水害がありました。ぼくは大丈夫でしたが、ぼくのおばあちゃん、おじいちゃんたちの家は水が入ってきて、たたみがびしょびしょになってしまいました。みなさんの中にもこういった体験をした人がいると思います。すぐつらい体験だったと思います。
だから、水害で困っている人に対して、「大丈夫ですか」と声をかけたりする温かいエールが大切だと思います。それをみんなでやっていくことができればいいなと思いました。



5年 小山 友雅



災害ごみ搬出作業を行う作業員

災害ごみの搬出作業が始まる

8月の大雨災害によって各家庭から出された「災害ごみ」約4,000 tの搬出作業が、11月8日から始まりました。

仮置き場の旧大高山スキー場駐車場に集積された災害ごみの多くが可燃ごみや不燃ごみなどが混ざった状態のため、町から委託を受けた事業者が手作業で分別・運搬し、指定処理業者が処理を行います。

11月9日には、事業者が冷蔵庫の搬出作業を行っており、中に残されたものがないか一つひとつ確認しながらトラックへ積み込んでいました。

黒石地区清掃施設組合に協力を要請

仮置き場に集められた災害ごみのうち、可燃ごみについては、エコクリーンアフィにあるごみ焼却施設の年間の処理能力を超える量が集積されました。そのため町は、災害で出た可燃ごみの処理を、県を通して黒石地区清掃施設組合に協力を要請し、10月に同組合と契約を交わしました。

11月から順次、仮置き場から同組合へ可燃ごみの運び入れを行っています。

町では、災害ごみ約4,000 tのうち約800 tは今年度中に、残り約3,200 tは令和5年度中に処理する予定です。

また、処理費用は国の補助金や特別地方交付税を活用し、町の経済的負担を抑えながら処理を進めていきます。



黒石地区清掃施設組合（同組合HPより）



被災した3町で県に要望しました

国・県へ大雨災害関係の要望書提出

11月11日、8月の記録的大雨によって被災者生活再建支援法が適用された深浦町、外ヶ浜町、鱈ヶ沢町が3町連名で青森県に対し、要望書を提出しました。

要望内容は、被災地域の復興に向けた財政措置についての国への働きかけや、被災地域の活性化に向けた取組への財政支援の強化などです。

要望書を受け取った青山祐治副知事は「特別交付税は国に強く求めていく。被害の全容は把握できていないため、問題があれば言ってほしい」と話しました。

また、11月15日、三村申吾青森県知事と平田町長は、国土交通省に対して、防災・減災などに必要な予算の確保について要望しました。この要望は、県高規格道路建設促進期成会や県河川砂防協会など7者連名で提出されたもので、平田町長は県河川砂防協会幹事として、また、8月の大雨災害で被災した自治体の首長として要望活動を行いました。

要望内容は防災・減災、国土強靱化に必要な予算総額の確保のほか、疲弊した地域の生活・観光・産業を下支えする社会資本の整備に必要な予算の十分な確保などです。

町では、国・県に対し、引き続き復興に向けた支援を要望するとともに、災害に強い道路ネットワークの構築や命とくらしを守るインフラの機能強化などを要望していきます。



藤井直樹国土交通事務次官に要望書を提出



ご自身の健康づくりにぜひお役立てください

お手軽元気健康チェックで日々の健康管理を！

町では、毎月1日を「あじがさわ健康の日」と定め、定期的
に「お手軽元気健康チェック」を実施しています。これは骨密
度や体脂肪率などを測定して自身の状態を知ること、日々の
健康管理に役立ててもらうことを目的として行われています。

11月1日、町役場町民ホールで行われた健康チェックでは、
明治安田生命保険相互会社青森支社と協働し、野菜摂取量の測
定も行われました。参加者からは「野菜の量に気をつける良い
きっかけになった」との声が聞かれました。

野菜摂取量の測定は、令和5年3月実施の「お手軽元気健康
チェック」でも行われる予定です。ご自身の健康状態や野菜摂
取量が気になる方はぜひご参加ください。

小野みちゑさん 100歳おめでとございます

11月20日、日照田町の小野みちゑさんがめでたく100歳の
誕生日を迎えました。同日、現在入所している特別養護老人
ホームつくし荘を加藤副町長が訪れ、顕彰状と記念品を贈呈し
ました。

小野さんは、深浦町出身。結婚を機に日照田町に移り住み、
5人の子どもと孫12人、ひ孫たちに恵まれました。

家族によると、若い頃から体を動かすことが好きで、田んぼ
や畑などの農作業に精を出したとのこと。よく働いたことが長
寿に繋がったのではないかと教えてくれました。

また、山菜採りも好きだった小野さんは、施設入所後も山菜
の皮むきなどを楽しんでいました。



100歳を迎えた小野さん（中央）



和菓子作りに取り組む生徒と山崎さん(左奥)

鱒ヶ沢中3年生が和菓子作りに挑戦

11月29日、鱒ヶ沢中学校（相馬治校長）の3年生60名が和
菓子作りに挑戦しました。

これは、地元菓子店協力のもと和菓子作りをすることで町の
産業について知ることを目的に行われたものです。

山ざき菓子店の店主・山崎康裕さんが講師を務め、生徒は
赤・青・黄色の練り切り生地を混ぜて色を調整したり、形を整
えたりしながら季節の花やキャラクターなど思い思いの形に仕
上げていました。

生徒からは「和菓子を作るのは初めて。模様を付ける道具の
力加減が難しかった」、「楽しみながらうまく作れた。家族に食
べてもらいたい」といった声が聞かれました。

町老人クラブ連合会が受章を報告

12月1日、町老人クラブ連合会の小島千代枝会長らが町役
場を訪れ、令和4年度全国老人クラブ連合会会長表彰受章を報
告しました。

受章について小島会長は「赤石川河口付近の清掃活動や町内
史跡巡りなどの活動が認められたことが嬉しい。表彰を受け、
なお一層活動を頑張っていきたい」と話していました。

平田町長は「皆さんには、今後も様々な活動を展開し、いつ
までも元気に第一線で活躍していただきたい」と激励しました。



受章を喜ぶ町老人クラブ連合会の皆さんと平田町長

東京鱈ヶ沢会が総会・交流会を開催

11月20日、令和4年度東京鱈ヶ沢会総会・交流会が都内で開催され、会員や関係者など約50名が参加しました。

主催した同会の秋元謙治会長が「平成30年に開催して以来、4年ぶりの開催。ふるさとへの思いを語らうなど、鱈ヶ沢町を感じてほしい」と挨拶し、続いて、来賓として出席した平田町長が大雨災害による町の被災状況や被災された方への支援などを報告しました。

総会では、令和4年度事業計画として町移住計画の積極的推進やふるさと物産展への協力・支援が報告されたほか、同会から町に災害寄附金が寄せられました。



挨拶をする秋元会長



総会のようす



東京鱈ヶ沢会から寄附をいただきました

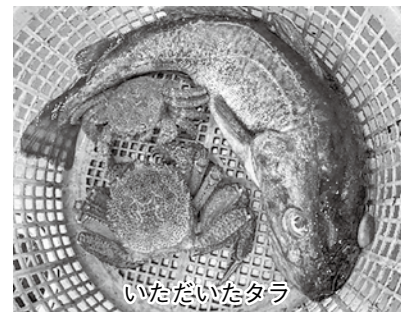
こんにちは！地域おこし協力隊です

12月から2月頃に旬を迎える「マダラ」。青森県ではじゃっぱ汁やたつ鍋など様々な郷土料理がありますが、町民の皆さまはどの料理がお好きでしょうか。ちなみに私は母が作るまだらこの醤油漬けが一番好きです。鱈ヶ沢に来てから他の家庭のタラ料理を食べる機会が増え、各家庭で味が違ったり、じゃっぱ汁の具が違ったりと大変興味深いことが多く、郷土料理も奥が深いな～と感じています。

日本の郷土料理ではなくメキシコ料理になるのですが、最近では「マダラのタコス」を作ってみました。よくあるタコスキットを使って、炒めたひき肉をマダラの揚げ焼きに変えただけの料理です。私自身、留学に行った際ホストファミリーの料理で一番好きだったのがタコスで、そこからタコスが大好きなのですが、今まで食べたタコスの中でもトップクラスに美味しいタコスでした。ポイントはタラの皮をカリカリに焼くことです。タコスソースをかけてもタラの存在感が強く、味と食感がしっかりしています。

鱈ヶ沢の人はタラを1匹丸ごともらう機会もあると思うので、いつものレパートリーに飽きた際にはぜひタコスキットを買ってマダラのタコスを試してみてください。

(地域おこし協力隊 川村 遊)



ツイッター
@aji_gyogyo



インスタグラム
@aji.gyo

ツイッター・インスタグラム 更新中！

鱈ヶ沢で獲れている魚をツイッターやインスタグラムで紹介しています。ぜひフォローお願いします。

旧役場庁舎周辺エリアの活用を考える 「中学生版町民アイデア会議」開催!!

町では、令和4年度から、旧役場庁舎及び旧消防本部、その周辺の土地や建物の活用方法について、弘前大学と共同研究を実施し、地域の将来像を検討をしています。

検討を進めるうえで、行政だけではなく町民の皆さんから広くアイデアや意見を聞き、反映させるため、対話中心のワークショップ「町民アイデア会議」を実施していくこととしています。

■中学生版町民アイデア会議開催

町長へ活用アイデアを提案
10月26日、第1弾のワークショップとして、鱒ヶ沢中学校3年生を対象に「中学生版町民アイデア会議」を開催しました。今回は「ふるさと学習」の一環として開催し、生徒は町の未来について考え、対話の中で様々なアイデアを出し合いました。

そして、12月7日、ワークショップで出たアイデアなどをまとめた「ふるさと学習発表会」が開かれ、生徒が平田町長や阿彦教育長にプレゼンテーションを行いました。



旧役場庁舎



中学生版町民アイデア会議の様子

提案されたアイデアの一例

- ・海の見える結婚式場
- ・スーパージョウ（温泉）
- ・釣った魚をその場で食べられる飲食店
- ・大人から子どもまで活用できるスポーツ施設
- ・イベント会場やキャンプにも使える広い公園 など

生徒のプレゼンテーションを聞いた平田町長は「自由でさまざまな角度からの提案が良かった。町に活気を取り戻すため、今回の意見を参考にしながら検討を進めていきたい」と講評しました。また、弘前大学の土井良浩教授は「発表のレベルが高くて驚いた。進学や就職で外の世界に触れる機会が多くなると思うが、その際に鱒ヶ沢町

の良さを実感して、戻ってきて欲しい」とコメントしました。

■町民アイデア会議に参加してみませんか？

11月16日には、第2弾のワークショップとして、町民を対象に「町民アイデア会議」を中央公民館で開催しました。10代から70代まで幅広い年代の方が集まり、時折笑い声が聞かれるにぎやかな雰囲気の中、旧役場庁舎周辺エリアの活用について意見を交わしました。

今年度中に、町民を対象とした2回目の町民アイデア会議を開催する予定です。にぎわいのあるエリアづくりに興味がある方、旧役場庁舎周辺エリアの活用アイデアをお持ちの方は、ぜひご参加ください。

※次回の日程は決まり次第お知らせします。

間政策推進課 地域経営戦略班

(☎338)



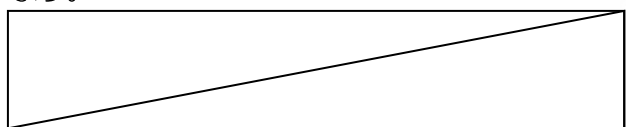
ふるさと学習発表会の様子

鱒中3年生のプレゼンテーションをご覧ください！

町教育委員会では、鱒ヶ沢中学校と連携して12月7日に行った「ふるさと学習発表会」の様子を、町民の方々に見てもらうため、YouTubeで動画配信します。3学年の生徒が、生まれ育ったふるさとのにぎわいを取り戻そうと懸命に考えたアイデア、またその提案を堂々と披露した発表風景をぜひご覧ください。

町教育委員会では、令和5年度から各学校と連携し、学校行事などをできる範囲で動画配信していく予定です。少しでも多くの町民の方々に児童生徒の

活躍を見ていただきたいと考えています。



※この動画は拡散防止のため、限定公開とし、検索結果や関連動画には表示されないよう設定しています。

間学校教育課 学校教育班(☎354)

毎月1日は「あじがさわ健康の日」

1月のテーマ「運動」

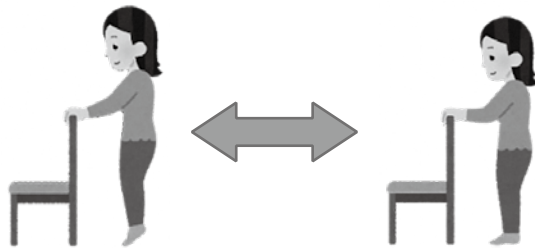
★運動で体の不調を改善しよう★

冬は寒さで体を動かすことが億劫になりがちです。また、寒くなると、手足が冷たくなる、夜眠れないなど、体の不調が多くなります。体を動かして温めることで、免疫力や代謝が上がり、これらの不調の改善が期待できます。

今回は、簡単にできる運動をご紹介します。家の中で、立った状態でも椅子に座った状態でもできる「つま先立ち」と「つま先の上げ下ろし」がおすすめです。無理のない範囲で、挑戦してみませんか。寒い冬こそ、体を動かして元気に過ごしましょう。

①「つま先立ち」

方法は、「つま先立ちを繰り返す」だけです。バランス感覚に自信がある方は、立った状態で正しい、かかとを下ろすときに床につかないようにすると、負荷がかかります。



②「つま先の上げ下ろし」

「つま先立ち」に加え、「つま先の上げ下ろし」を加えると、足先の冷えの改善やふくらはぎの引き締め、血流やリンパの流れを良くする効果も期待できます。特にリンパは、筋肉の動きや外からの刺激がなければ流れません。リンパの流れを良くすることで、体のなかの老廃物を排出する手助けになります。



個別健（検）診の申込み受付中！

個別健（検）診の申込みを随時受付けています。今年度の対象となる方は、負担の少ない料金で受診することができます。まだ受診していない方はこの機会にぜひご利用ください。

なお、健（検）診受診には期限がありますので、申込みはお早めをお願いします。

特定健診・後期高齢者健診	胃がん検診(胃内視鏡検査)	婦人検診
対象 40歳以上の国民健康保険加入者 及び後期高齢者医療保険加入者 料金 無料 (本来は8,481~8,701円) 指定医療機関 鱈ヶ沢病院・越前医院・七ツ石内科 受診期限 後期加入者：令和5年1月31日(火) 国保加入者：令和5年2月28日(火) 申・閏ほけん福祉課 国民健康保険班 (☎136、137)	対象 50歳以上の昭和奇数年生まれ 料金 2,000円 (本来は12,650円) 指定医療機関 鱈ヶ沢病院 受診期限 令和5年2月28日(火) ※予約状況により、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。 申・閏ほけん福祉課 健康推進班 (☎144~147)	対象 子宮頸がん検診：20歳以上の昨年度未受診の女性 乳がん検診：40歳以上の昨年度未受診の女性 料金 各500円 (本来は子宮頸がん検診8,404円、乳がん検診7,392円) ※無料受診券対象の方は無料で受診できます。 指定医療機関 申込みの際、お問合せください 受診期限 令和5年2月28日(火) 申・閏ほけん福祉課 健康推進班 (☎144~147)

予防接種は冬休み中に受けましょう！

●4月に小学校に入学するみなさん

麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)2期の接種期限は令和5年3月31日までです。

●小学校6年生のみなさん

二種混合ワクチンの接種期限は13歳の誕生日の前日です。中学校に入学すると勉強や部活で忙しく接種を逃しがちです。

※上記対象者以外の方も、お子さんの予防接種の受け忘れがないか、改めてチェックしてみてください。



【1月の乳幼児健診日程】

健診	健診日 [受付時間]	場所	対象	持ち物
3歳児健診	1月19日(木) [12:20~12:40]	中央公民館 2階和室	令和元年6月・7月・8月生まれ	母子健康手帳 バスタオル 送付される問診票 ほか
乳児健診	1月26日(木) [13:00~13:20]		3か月児：令和4年9月生まれ 6か月児：令和4年7月生まれ 10か月児：令和4年3月生まれ	母子健康手帳 バスタオル
すくすく健診	1月27日(金) [12:50~13:00]		令和2年6月・7月・8月生まれ	母子健康手帳 バスタオル 送付される問診票 ほか

年末の新型コロナウイルスワクチン接種の予約はお早めに！

～人の交流が増える年末年始に備えませんか？～

現在、オミクロン株対応ワクチン接種を実施中ですが、町内では年末に接種できる医療機関があります。12月16日時点では、年末の予約枠も若干空いていますので、接種を希望される方は早めに予約をお願いします（予約枠が埋まっている場合もありますのでご了承ください）。

なお、1月以降の各医療機関の予約枠は大幅に縮小します。詳しい日程は、広報あじがさわ1月号と一緒に毎月配布した「新型コロナウイルスワクチン接種についてvol.13」をご覧ください。

【予約・問合せ先】 鯉ヶ沢町新型コロナウイルスワクチン接種対策室 [☎0173-82-0909]
(土・日・祝日・年末年始は除く)

1月・2月は「はたちの献血」キャンペーン月間です

献血者が減少しがちなこの季節。

「はたち」の若者をはじめとする皆さまの献血へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



五所川原保健所
こころの健康相談

1月12日(木) 13:00~14:00
Tel 0173-34-2108 (要予約)

☎・☎ほけん福祉課 健康推進班(☎144・145・146・147)

こんにちは！地域包括支援センターです!! ～「超高齢社会を考える学習会」無事終了!!～



令和4年11月8日から全4回にわたって「超高齢社会を考える学習会」を開催しました。当初は3回の予定でしたが、好評につき1回追加して全4回開催し、延べ74名の方が参加しました。

学習会はグループに分かれ、おもしろ自己紹介やテーマに沿った話し合いなど、グループワークにも挑戦しました。毎回異なるテーマのもと、楽しみながら和気あいあいとした様子で学習しており、当初予定されていた第1回から第3回まで全てに参加した方には、修了証が手渡されました。



参加された方からは「とても勉強になった」「また開催してほしい」といった声が聞かれました。

今回の学習会に参加された皆さんは、学習会で考えたことや学んだことを家族やお友達にもお話してみましよう。



☎ほけん福祉課 地域包括支援センター(☎124・125・126)

令和5年度認定こども園・保育所新規入所児童募集！ 在園児の継続利用は現況届の提出が必要です！

令和5年4月に認定こども園・保育所への入所を希望するお子さんを募集します。また、在園児の継続利用には、現況届の提出が必要です。

入所に関する詳細は、ほけん福祉課及び町内各施設で配布している案内チラシをご覧ください。

申請書類配布場所▶ほけん福祉課 子ども家庭班
町内各認定こども園・保育所

対象児童▶鱒ヶ沢町に住民登録があるお子さん

受付期間▶1月5日(木)～31日(火)

受付場所▶新入児 ⇒ ほけん福祉課
継続児 ⇒ 利用中の各施設
町外施設利用児 ⇒ ほけん福祉課



※マイナンバー制度により、新規申込みの際は、本人確認(番号確認と身元確認)が義務付けられています。ご理解・ご協力をお願いします。

※上記期間終了後も、募集は随時行っています。

【町内認定こども園・保育所一覧】

施設名	施設の種別	バス送迎	通常保育以外の事業	電話番号	所在地
☎舞戸保育所	幼保連携型認定こども園	あり	一時預かり・延長保育(19時まで)・子育て支援センター	72-2277	舞戸町
☎たていし愛児園	保育所型認定こども園	あり	一時預かり・子育て支援・学童保育	72-1246	建石町
☎つくしの森	保育所型認定こども園	あり	一時預かり・延長保育(19時まで)・病後児保育・祝日保育・子育て支援・学童保育	72-2704	北浮田町
☎みなみ保育園	保育所	あり	一時預かり・祝日保育・子育て支援	79-2530	館前町

☎ほけん福祉課 子ども家庭班(☎155)または各認定こども園・保育所

要介護認定者の方は税控除が受けられる場合があります

障害者手帳などの交付を受けていない65歳以上の方で、要介護の判定を受けていて右の要件にあてはまる場合は、所得税や町・県民税の申告の際に「障害者控除対象者認定書」を添付することで障害者控除が受けられます。

介護保険被保険者証(オレンジ色)の介護度を確認し、ほけん福祉課介護保険班へ申請してください。令和4年12月31日現在の状況で判定し、後日認定証を送付します。詳しくは、下記までお問合せください。

障害者控除の対象となる要件	障害者の区分	所得控除額	
		所得税	町・県民税
・要介護概ね1～3の高齢者 ・要介護認定されており、日常生活自立度Ⅱa～Ⅲbの方	障害者	27万円	26万円
・要介護概ね4～5の高齢者 ・要介護認定されており、日常生活自立度Ⅳ～Ⅴの方	特別障害者(同居の場合)	40万円(75万円)	30万円(53万円)

☎・☎ほけん福祉課 介護保険班(☎114・115)

室内温水プール臨時休館情報

臨時休館日▶令和5年1月22日(日)

第34回津軽地区冬季水泳競技大会

室内温水プールの詳しい情報は町ホームページに記載されています。大会日程や臨時休館など、イベント情報を月ごとに確認することができますのでぜひご覧ください。



上記から簡単に開くことができますのでご利用ください。

☎室内温水プール[☎72-5700]

ふれあいの場にお邪魔します！

～「出張！ミニはまなす学級」のおしらせ～

「出張！ミニはまなす学級」とは、地域の皆さんが集まっている“ふれあいの場”に社会教育課の職員がお邪魔して、簡単な学習会やその地域の皆さんとお話をするものです。

簡単な脳トレや軽スポーツ、町の歴史や昔話、一緒に童謡や唱歌を楽しむなどのミニ学習をぜひやってみませんか。

費用は無料で、少人数でもお伺いします！

日程や内容をご相談に応じますので、まずは下記までご連絡ください。

☎・☎社会教育課 社会教育班(☎365)

農業機械等導入を検討されている皆さまへ 国の補助事業が活用できます

令和5年度に金融機関からの融資で農業用機械の導入を検討されていて、下記に該当する方は国の補助事業を活用することができます。ご希望の方は提出書類を準備のうえ、農林水産課農業経営班にお申込みください。



- 事業名**▶農地利用効率化等支援交付金
助成対象者▶人・農地プランに位置付けられた中心経営体等（認定農業者・新規就農者等）で経営規模の拡大や農業の6次産業化等に取り組んでいる方
補助率▶事業費の3/10以内（上限300万円）
対象▶事業費が整備内容ごとに50万円以上で、耐用年数がおおむね5年以上20年以下であること
提出書類▶見積書、カタログ
申込期限▶令和5年1月25日（水）

果樹農家の皆さまへ りんごの改植・園地整備のご案内 ～果樹経営支援対策事業・果樹未収益期間支援事業～

令和5年度にりんご改植・特認事業（防風網等）を実施したい方は、下記のとおり事業要望の受付を開始していますのでお申込みください。



- 事業対象者**▶認定農業者、果樹経営面積が1.0ha以上の農家、果樹経営面積が0.8ha以上のエコファーマー資格所有者、認定新規就農者
補助率▶定額又は定率1/2以内
提出書類▶申込用紙に事業内容及び面積等を記入し提出してください（特認事業の場合は見積書含む）。
申込期限▶令和5年2月28日（火）
受付場所
・つがるにきた農協つがる白神統括支店【☎72-2783】
・農林水産課 農業経営班
※特認事業を実施する園地は果樹共済等に加入している必要があります。

留意事項

上記2つはいずれも事業内容などに変更が生じることがあります。また、申込みされても採択されない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

申・園農林水産課 農業経営班(☎226)

1月31日（火）は

【第7期】国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料

の納期限です。納め忘れのないようお願いします。

※口座振替で納付いただいている方は、納期限までに口座残高の確認をお願いします。

鱈ヶ沢病院休診情報

都合により、下記外来診療日は休診となります。



休診日▶眼科外来 12月23日（金）
歯科外来 令和5年1月10日（火）

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

問つがる西北五広域連合 鱈ヶ沢病院【☎72-3111】

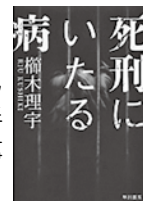
★今月のおすすめ本★

《一般書》「死刑にいたる病」

著：榎木 理宇／出版社：早川書房

理想とは程遠いランクの大学に通い、鬱屈した日々を送る雅也の元にある日届いた1通の手紙。それは世間を震撼させた希代の連続殺人事件の犯人・榛村からのものだった。

令和4年5月に公開された同名映画の原作！



《児童書》「くみたて」

作：田中 達也／出版社：福音館書店

分解された状態の日用品。それをミニチュアの作業員たちが、せっせと組み立てます。パーツの状態だと何か分からなかったけれど、完成するにつれて、それが何なのか分かってきます。

完成した日用品は、ミニチュア世界の住人たちにどんなふうに使われているのでしょうか。

「組み立て」と「見立て」で繰り広げられる、身近なものが別のものに見えてくる驚きと面白さにあふれた写真絵本です。



おすすめ本は、日本海拠点館図書コーナーで借りることができますので、ぜひご利用ください。

なお、新刊図書は好評につき、貸出中の場合があります。1人2冊までの貸出制限にご理解とご協力をお願いいたします。（予約可）

開館時間▶9:00～18:00

休館日▶月、火曜日

（図書コーナーのみ第4木曜日もお休みです。）

返却場所▶日本海拠点館・中央公民館・舞戸公民館

問日本海拠点館 図書コーナー【☎72-5555】

青森りんごin津軽半島デジタルスタンプラリー2022冬 開催中！

好評だった夏イベントに続き、冬も開催!!

津軽半島地域内（五所川原市、つがる市、今別町、蓬田村、外ヶ浜町、鱈ヶ沢町、深浦町、板柳町、鶴田町、中泊町）に設置されている10か所のチェックポイントを回ってスマホでスタンプを集め、豪華景品に応募しよう！



開催期間▶令和5年1月9日（月・祝）まで

※イベントの詳細動画はこちら →



問津軽半島振興対策促進協議会事務局
（五所川原市ふるさと未来戦略課内）
【☎0173-35-2111】

年末年始特別火災予防運動

消防署では、火災のない明るいまちづくりを目的とし、12月29日(木)から1月3日(火)までを『年末年始特別火災予防運動』期間と定めています。

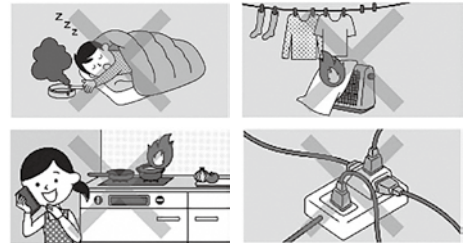
年末年始は何かと慌ただしく、ちょっとした気の緩みから火災が発生する恐れがあります。お出かけ前やお休み前にもう一度火の元を点検し、火災を起こさないよう心掛けましょう。



住宅防火 いのちを守る10のポイント

[4つの習慣]

- ①寝たばこは絶対にしない、させない
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- ③こんろを使うときは火のそばを離れない
- ④コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く



[6つの対策]

- ①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する
- ②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- ③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する
- ④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく
- ⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- ⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

問 鱒ヶ沢消防署 [☎72-2710]



母子支援センターだより



防ごう！子どもの事故

子ども（0歳から6歳）の周囲の大人たちが、安全な製品の選択、正しい利用により、子どもの身の周りの環境を気をつけて対策をすることで、防げる事故があります。

明るく楽しい子育てと毎日の生活のために、子どもを事故から守る正しい知識を身につけましょう。

[事故防止対策のためにできること]

- 子どもだけを家に残して外出することは避けましょう。
- 子どもだけを車内に残しておくのは大変危険です。やめましょう。

問 ほけん福祉課 子ども家庭班 母子支援センター(☎156)

「いのちの学習」

母子支援センターでは、毎年、町内の小学4年生を対象に「いのちの学習」の出前授業を実施しています。

授業では、聴診器を使って児童一人ひとりが自分の心臓の音を聞いたり、赤ちゃんの人形を抱っこしたり、お母さんのおなかの中で、赤ちゃんがどのように成長しているのか、胎児の人形で学んだりしています。

ひとりに一つの大事な命。命の誕生の奇跡をずっと忘れずに、成長してほしいです。



舞戸小4年生

メールアドレス: boshi-center@town.ajigasawa.lg.jp

医療法人 梟衆会



七ツ石内科

鱒ヶ沢町大字七ツ石町27-1

TEL 0173-72-2879



厚生労働大臣認定

今労働衛生コンサルタント・産業医事務所

院長 今 昭人

- 受付時間／ 午前 8:30～13:00
午後 14:30～18:00
- 休診日／ 木曜日・日曜日・祝日

広報あじがさわ有料広告

(仮称)大高山風力発電事業に係る環境影響評価書の縦覧

㈱石油輸送リース森山による大高山地区内の風力発電所建設事業計画に伴う「環境影響評価書」を縦覧します。

場所▶町役場 政策推進課

期間▶令和5年1月27日(金)まで
(土・日・祝日を除く)

時間▶8:15~17:00

電子縦覧▶事業者ホームページで公開
<http://www.moriyama-d.jp/>

意見書の提出

評価書の内容に対するご意見・ご質問は、住所、氏名、電話番号、内容を記載のうえ、縦覧場所に備付けの意見箱もしくは下記問合せ先に郵送またはFAXでご提出ください(電話によるご意見、ご質問はお受けできませんのでご了承ください)。

受付期間▶令和5年2月10日(金)まで
(郵送の場合は当日消印有効)

〒038-0001 青森市新田3丁目
11番1号 ㈱石油輸送リース森山
☎017-763-5547/FAX017-766-1389

県税納税証明書の交付申請方法

県税納税証明書が必要な方は、次の書類などをご準備ください。

郵送による交付申請もできます。詳細は下記までお問合せください。

納税義務者本人(法人の場合は代表者)が交付申請する場合

- ①申請書(県HPからダウンロードしてください)
- ②本人確認ができる書類(運転免許証など写真付きの公的書類)
- ③手数料(1件につき県収入証紙400円)

代理人が交付申請する場合

前記①③のほか、以下のものがが必要です。

- ④委任状(申請書「委任に関する事項」欄使用可。納税義務者本人(法人の場合は代表者)が自署したもの)
- ⑤代理人の本人確認書類(運転免許証など写真付きの公的書類)

青森県HPアドレス

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/soumu/zeimu/010_01nouzei.html

納税証明書は、納税者の皆さまの大切な情報を証明するものです。窓口での確認を厳正に行っていますので、ご協力をお願いします。

〒0173-34-2111
☎0173-34-2111

鱈ヶ沢町地域職業相談室のご案内

鱈ヶ沢町地域職業相談室は、ハローワークと鱈ヶ沢町の共同運営施設です。お仕事の内容や応募条件の確認、面接対策や応募書類の書き方など、皆さまのお仕事探しのお手伝いを行っています。

また、全国のハローワークで受付した求人票を見ることができ、季節求人も含め随時更新されています。ぜひ、お気軽にご利用ください。

利用日▶月~金曜日

(土日祝・年末年始除く)

時間▶9:30~17:00

場所▶鱈ヶ沢町中央公民館1階

☎72-3124

**生活に関するお悩みはこちらへ
あんしん相談窓口あじがさわ**

鱈ヶ沢町社会福祉協議会では、生活していくうえで様々な課題を抱える住民の方を支援するための相談を受付ています。

また、相談ツールのひとつとして、メール相談・LINE相談も行っています。ひとりで悩まず、お気軽に下記までご相談ください。費用は無料。秘密厳守。

メール相談用アドレス

ajisya@chic.ocn.ne.jp

LINE相談はこちらから

アクセスしてください



☎82-1602

B型肝炎訴訟 無料電話相談会

B型肝炎被害対策東北弁護士事務所では、B型肝炎訴訟について、弁護士による無料電話相談を行います。

対象▶B型肝炎患者またはそのご家族(患者が亡くなっている場合は、その相続人)

日時▶令和5年1月21日(土) 10:00~18:00

相談専用番号▶☎022-266-9686、☎022-266-9687

※予約不要です。電話相談会日時に直接お電話ください。通話料はかかります。

☎0120-76-0152

眠ったままで受けられます! 胃・大腸内視鏡検査



千葉胃腸科内科

経鼻内視鏡

大腸ポリープ切除

ピロリ菌除菌

TEL 0172-36-7788

水・日・祝日・土曜午後休診

院長
千葉 裕樹



弘前市石渡3-13-2
(サンデー弘前石渡店向かい)

広報あじがさわ有料広告

電化製品販売・修理・電気工事・水まわりリフォーム承ります

◇テレビ・冷蔵庫・洗濯機・ボイラー・ストーブ・エアコン・IHクッキングヒーター

エコキュート・電気温水器・トイレ・浴室・洗面台など

◇分電盤取替・アンペア変更

◇アンテナ工事

◇ストーブ分解掃除

◇蛇口、シャワー取替



鱈ヶ沢町指定給水装置工事事業者



つがる市柏稲盛幾世9
☎0173-25-2488



防災

除雪機による事故を防ごう

※町では「防災出前講座」を実施していません。町内会で自主防災組織を立ち上げてみませんか。講座の申込・お問合せは下記までご連絡ください。

問総務課 防災班(☎317・318)

◆正しい操作で、安全除雪!

毎年、雪のシーズンになると、除雪機による事故が多発しています。除雪機を使う際には、次の点に注意して操作しましょう。

- ① 作業を行う前に、必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解しましょう。
- ② 安全装置が正しく作動しない状態では使用しないようにしましょう。また、デッドマンクラッチ機構(安全装置)を意図的に無効化したり、故障を放置したままでは使用しないようにしましょう。
- ③ 雪詰まりを取り除くときは、必ずエンジンを停止し、回転部(オーガ、ブロー)が完全に停止してから雪か

き棒を使って行いましょう。

④ 回転部に近づくときは、必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから作業を行いましょ。

⑤ 後進時は、転倒したり、挟まれたりしないよう、足元や後方の障害物には十分注意しましょう。

⑥ 除雪作業中は、雪を飛ばす方向に、人や車・建物がいないことを確認しましょう。また、除雪機の周りには絶対に人を近づけないようにしましょう。

⑦ 建物の軒下近くでの除雪作業を行う際には、落雪に十分注意しましょう。

△問合せ先▽

除雪機安全協議会(一般社団法人
日本農業機械工業会内)

☎03-3433-0415



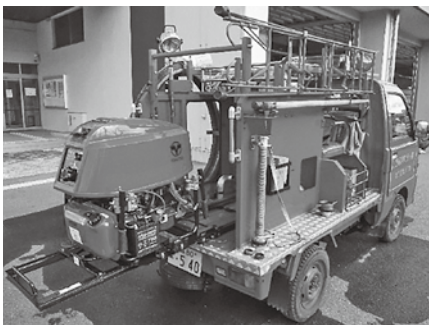
▼コミュニティ助成事業

消防団の可搬消防ポンプを購入

町では、コミュニティ助成事業(地域防災育成助成事業)を活用して、地域の防災リーダーとして活動する消防団の装備拡充を図るため、可搬消防ポンプを購入しました。

今後この可搬消防ポンプは、鱈ヶ沢町消防団第3分団第3部(上野地区)に配備され、災害から地域を守る消防団の活動を行うため活用していきます。

※コミュニティ助成事業とは、(一財)自治総合センターが実施する宝くじの社会貢献広報事業で、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図り、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的とするものです。



--- 社会福祉法人 音羽会 ---

〒038-2712 鱈ヶ沢町大字長平町字甲音羽山 65-412

介護老人保健施設 **ながだい荘 (入所・通所)**

☎0173-72-1122

グループホーム **うぐいすの里** ☎0173-72-1314

〒036-8066 弘前市向外瀬字豊田 319-1

住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅

シニアシティ弘前 ☎0172-55-5858

天然温泉、全個室：エアコン・トイレ・洗面台・ミニキッチン(IHヒータ)付

ホームページ <http://otowakai.or.jp/>

~有料広告募集中~

「広報あじがさわ」に
広告を掲載しませんか?

規格・掲載料一例(町内)

1号：タテ 45mm × ヨコ 85mm 5,090円

2号：タテ 45mm × ヨコ 180mm 10,190円

※詳細は下記までご相談ください。

問総務課 総務班(☎325・327・328)

広報あじがさわ有料広告



○鯨高ゴルフ部 始動!

鯨ヶ沢高校では現在、教育環境の充実に向け、鯨ヶ沢町と地域の協力を得ながら鯨高活性化協議会を設立し、魅力ある学校づくりに取り組んでいます。

鯨ヶ沢町といえば、海・山といった自然が一番の魅力であり、青森スプリング・ゴルフクラブとスキーリゾートという全国でも有名な施設があります。

夏はゴルフ、冬はスノーボードといった豊富な地域資源があります。鯨ヶ沢高校はそれらを活用した活動を前面に



ゴルフ部員と寄附していただいたクラブやバッグなど



室内練習場でのドライバー練習

打ち出し、部活動の魅力化に向けた取組として、ゴルフ部を設立しました。

6月から始動した鯨高ゴルフ部は部員が1年生4名で、週に2〜3回の練習に取り組んでいます。校庭に150ヤードのパー3のコースを造り、冬でも練習できるように校内施設の一部を室内練習場に整備しました。来年度の大会出場に向けてこれからも練習に励みますので応援よろしくお願ひします。また、ゴルフ部の活動には欠かせないクラブやバッグ、ボールなどを、地域の方々からたくさん寄附していただきました。紙面より心から感謝申し上げます。大切に使用させていただきます。本当にありがとうございます。

○鯨高みらい塾 成果発表会

11月17日、本校の第一体育館において鯨高みらい塾の成果発表会が行われました。5月から10月までの月に1度、弘前市にあるJUA V A C ドローンエキスパートアカデミー青森校より講師をお招きして、ドローン操作について学んできました。発表会では、これまで受講してきた10名の生徒全員がドローンを操作し、地面に置かれた三角コーンを目安に指定された飛行や旋回を行いました。発表後には受講生へ「ドローンフライト基本技術入門コース」の修了証が授与されました。今後も様々な活動に取り組んでいく予定です。



指定された飛行操作を行う生徒



発表会後に修了証を持って記念撮影する受講生

～鯨ヶ沢高校行事予定～
(1月)

- 12月24日(土)～令和5年1月12日(木) 冬季休業
- 12月30日(金)～令和5年1月2日(月) 学校閉庁日(学校閉鎖)
- 1月13日(金) 3学期始業式
- 1月24日(火)～27日(金) 修学旅行(2学年)
- 1月26日(木)～31日(火) 学年末考査(3学年)

青森県立鯨ヶ沢高等学校[☎72-2106]
HP : <http://www.ajigasawa-h.asn.ed.jp/>

鯨ヶ沢を拓いた 天童山

第3回 築港工事への道



江戸時代初期に津軽藩の「鯨ヶ沢城」が築かれた天童山―津軽藩御用港としての鯨ヶ沢の本格的な町づくりは、ここから始まったとされています。まさにそれは、鯨ヶ沢の歴史を拓いた出発点だったといえるでしょう。

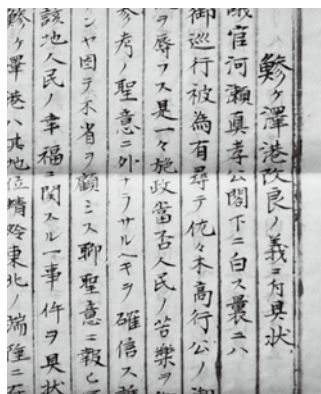
ところで天童山には、江戸時代の後にも、町の歴史に大きな役割を果たす時代が訪れます。今から90年前にあたる昭和7年（1932）に始まった鯨ヶ沢漁港修築工事（通称「築港工事」）です。この工事によって、天童山は半分ほどまで切り崩され、その土砂は漁港の埋め立て地に使われました。



本町の石垣護岸工事竣工（明治36年）
大量の石材は十面沢（弘前市）から切り出され運搬された



菊谷亀吉(1891~1945)
「ここに人ありき」より



鯨ヶ沢港改良の要望書(明治15年)
近年、河瀬家資料から確認された

天童山の姿を大きく変えたこの築港工事こそが、港の近代化という町の新たな時代への分岐点ともなったのです。ですが、その実現の道のりは決して平坦ではありませんでした。今回は、鯨ヶ沢を拓いた天童山のもう一つの歴史、築港工事への道をたどります。

■築港運動の始まり

北前船寄港地として繁栄した鯨ヶ沢町も、明治時代になると、衰退の兆しを見せるようになります。また、町は西海岸からの波浪災害にも悩まされ続け、復旧や護岸工事に多額の経費が投

じられていました。港の近代化は、経済や防災の面からも、町の命運をにぎる懸案事項となっていたのです。

鯨ヶ沢港改良を求めた運動は、すでに明治15年（1882）に始まっており、戸沼理左衛門（丸二塩屋）、尾崎五左衛門（尾崎酒造先祖）ら町の有力者が、国の元老院議員・河瀬眞孝宛てに要望書を提出。そこでは、鯨ヶ沢を九州・長崎に並ぶ港とし、満州（中国東北部）に臨む重要な拠点に位置付け、壮大なスケールで港改良の必要性を訴える内容となっています。

■護岸と築港

こうした町を挙げての運動が実を結び、明治32年（1899）、県事業による大規模護岸工事が着工します。5か年をかけて積まれた石垣の護岸は、七ツ石町から一丁目の大澤醸造店前までの約720mに及び、さらに明治45年（1912）に新町の角まで延長されました。

一方、大正14（1925）には五能線が鯨ヶ沢駅まで開通。西海岸の豊富な水産物が鉄道で流通するようになると、北前船の衰退で商業港として廃れかけていた鯨ヶ沢港を近代的な漁港として再生しようという動きが本格化します。この時、築港の実現を中央政界にまで働きかけ、奔走したのが、後に町議・県議・漁協組合長などを歴任した菊谷亀吉で、築港に一生をささげた最大の功労者とされています。

■鯨ヶ沢大火と築港

築港工事の実現には、さまざまな紆余曲折がありました。工事起工の年、



大火後の復興を急ぐ鯨ヶ沢町（昭和8年頃）天童山から撮影
漁師町を中心に再建が進んでいる様子がうかがえる

昭和7年1月17日に起きた「鯨ヶ沢大火」もその一つです。

この日、柳町（新地町）から出火した火の手は、折からの西風にあおられて漁師町から新町まで広がり、類焼家屋246戸のほか、永昌寺、法王寺などを焼き尽くしました。

くしくも同じ日、北村誠一町長は菊谷亀吉町議と築港工事運動のため上京中。そこに、この悲報が舞い込みました。中央の新聞は鯨ヶ沢大火を大きく報道し、ただちに国からの復興資金と築港予算が認められたといえます。

同年9月14日、ついに鯨ヶ沢築港工事は起工式の日を迎えます。それは、明治15年の要望書から半世紀に及ぶ悲願達成であるとともに、大火からの町復興をかけた再出発の日でもあったのです。

（町学芸員 中田）

津軽の中の鯺ヶ沢

第25回

九浦制度の成立・展開と鯺ヶ沢⑩

今回は、沖横目の業務内容が整備されたことで、18世紀前半に九浦制度の完成形ができたということを紹介しました。

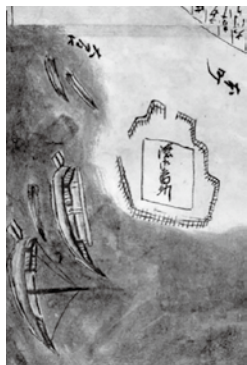
今回は、九浦制度をおびやかした「抜荷」とよばれる違法行為と、それへの藩の対応についてご紹介します。「抜荷」は、「抜米」や「隠津出」、「隠物積」などとよばれ、移出入の際に課せられる役銀を逃れるために、正規の流通ルートを通さず、密かに移出しようとする行為をあらわします。これは、九浦制度成立当初の寛文〜延宝年間（1661〜1681）から頻発しており、制度の維持をおびやかしていました。藩は抜荷の取り締まりを強化しますが、飢饉などをきっかけに件数が増加し、18世紀なかごろには、九浦の流通・運輸統制機能はほぼ機能不全におちいったといわれます。

青森湊の例ですが、元禄年間（1688〜1704）の間に少なくとも9件の抜荷行為が発覚していました。抜荷の品目は、木綿・塩・羽鯨（ニシンのひれなど、肥料に使用）・塩かき鯛・酒・たばこ・米・粟と多岐にわたっていました。

こうした抜荷に対して、弘前藩は町奉行に取り締まりの強化を命じました。例えば、元禄16年（1703）12月に、藩は九浦のうち碓ヶ関を除く8か所の

町奉行に対して、他国船や地元船による「湊盗米」という抜荷行為の取り締まり強化を命じました。「湊盗米」とは、村や町のはずれに米を集めておき、夜中に漁船が申し合わせてこの米を積み出す行為をいいます。この時の藩は、取り締まりの範囲が広大で湊目付だけでは取り締まりしきれないので、米や大豆などの抜荷品を見せしめとして藩が差し押さえることで、抜荷行為自体を減らそうとしました。寛延3年（1750）2月、藩は青森・鯺ヶ沢両湊に対し18か条からなる指令を出しました。そのなかで、近年各湊で抜荷などの取り締まりが不十分なために役銀の徴収不足が起きていることから、「海辺下改之者」という取り締まりの役人を新設し、広範囲にわたる船や荷物の統制強化を命じました。しかし、こうした藩の対応にもかかわらず、抜荷行為は沈静化しませんでした。九浦制度の崩壊を止めるすべはなかったのです。

（北斗高校 蕨谷大輔）



「鯺ヶ沢町絵図」の鯺ヶ沢湊の湊番所（光信公の館HPより）

南部藩御用港・野辺地町へようこそ！ 歴史と食文化を味わうツアー開催

野辺地町教育委員会 山崎 杏由



野辺地町教育委員会では、11月17日・19日、鯺ヶ沢町民と野辺地町民を対象に、津軽藩御用港・鯺ヶ沢町と南部藩御用港・野辺地町を訪ね合うツアーを開催しました。

17日は野辺地町のツアー参加者が鯺ヶ沢町を訪れ、中田学芸員のガイドのもと、白八幡宮や天童山を見学。お昼には鯺ヶ沢名物のヒラメのヅケ丼を堪能しました。

19日は、鯺ヶ沢町のツアー参加者を野辺地町までお招きし、町内の北前船で運ばれた石造物や愛宕山、戊辰戦争（野辺地戦争）戦死者墓所などをご案内しました。お昼は、北前船で伝わったとされる郷土料理「カワラケツメいの茶がゆ」などを食し、当時の食文化に触れてもらいました。

津軽と南部と、地域や藩は違いますが、北前船で伝わり残っている石造物や文化などには共通点もあり、参加者には、藩を越え北前船が結んだ「縁」を感じてもらえたのではないかと思います。

なお、本ツアーは来年度も行う予定です。引き続き野辺地の歴史と食でおもてなしますので、ぜひご参加ください！



鯺ヶ沢町からのツアー参加者（常夜燈公園にて）



北前船ゆかりの「茶がゆ定食」を味わう

野辺地町と北前船の歴史を知るならココ！ 野辺地町立歴史民俗資料館 [☎0175-64-9494]

本号は特別に、野辺地町教育委員会にご寄稿いただきました。

公共施設（指定管理施設含む）及び医療機関の 年末年始期間の休業日のお知らせ

年末年始期間（令和4年12月29日～令和5年1月3日）の公共施設等は、下記のとおり休業となります。町民の皆さまにはご理解とご協力をよろしくお願い致します。

◆公共施設（指定管理施設含む）

町役場 [☎72-2111]	12月29日（木）～1月3日（火）
中央・地区公民館	
室内温水プール [☎72-5700]	12月28日（水）～1月3日（火） ※12月26日（月）、27日（火）は通常休館
日本海拠点館 （図書コーナー含む） [☎72-5555]	12月29日（木）～1月3日（火） ※12月26日（月）、27日（火）は通常休館
斎場	12月31日（土）～1月2日（月） ※ペットの火葬は12月29日（木）～1月3日（火）の期間不可
海の駅わんど [☎72-6661]	12月31日（土）午後3時～ 1月3日（火） ※1月4日（水）から通常営業

◆ごみ収集

【収集業務】12月31日（土）～1月3日（火）

- ・各町内のごみ集積所はきれいに利用しましょう。
- ・ごみ袋はきちんと縛り、風に飛ばされたり、カラス等に荒らされたりしないよう工夫しましょう。

1月4日（水）から通常どおりごみ収集業務が行われますが、開始後の1週間はごみが大量に出ます。ごみ集積所の大きさなどを考慮し、小分けに出すようご協力をお願いします。

☎総合窓口課 生活衛生班(☎164・167)

◆エコクリーンアフィ

【自己搬入】12月31日（土）～1月3日（火）

1月4日（水）からは通常どおり自己搬入を受付けます。

☎エコクリーンアフィ[☎76-3700]

◆町内医療機関

町内医療機関の年末年始の診療日及び休診日は以下のとおりです。医療機関へ電話をする場合は、各医療機関の診療時間内をお願いします。※鱒ヶ沢病院は救急診療での対応となります。

医療機関名	29日(木)	30日(金)	31日(土)	1日(日)	2日(月)	3日(火)
鱒ヶ沢病院 [☎72-3111]	—	—	—	—	—	—
越前医院 [☎72-5151]	通常診療	午前 8時～11時 午後 休診	—	—	—	—
あじがさわクリニック [☎72-5200]	午前 9時～11時 （救急診療のみ） 午後 休診	午前 9時～11時 （救急診療のみ） 午後 休診	—	—	—	午前 9時～12時 （救急診療のみ） 午後 休診
七ツ石内科 [☎72-2879]	—	通常診療	午前 8時30分～12時 午後 休診	—	—	—

医療機関にかかる時のお願い

- ・発熱、風邪症状（のどの痛み、咳など）がある方は、直接、医療機関を受診せず、事前に電話で医療機関にお問合せください（院内に入らないようご協力をお願いします）。
- ・複数の医療機関を受診することにより感染を拡大した例がありますので、複数受診することはお控えください。
- ・医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケットの徹底をお願いします。

☎ほけん福祉課 健康推進班(☎144～147)

◆あじがさわコミュニティバス「あじバス」運行日程



12月29日（木）～1月3日（火）

赤石地区・中村地区・鳴沢地区▶土・日・祝日の時刻で運行
本町線・鳴戸線▶終日運休

12月30日（金）～1月2日（月）

市街地巡回線▶終日運休

☎政策推進課 政策調整班(☎335)

今月の戸籍の窓

※下記は、関係者に確認のうえ、了承を得た方のみ掲載しています。

こんには！赤ちゃん(11月16日～12月15日届出分)

石田 頼 虎 (朋昭) 山 子



お悔やみ申し上げます(11月16日～12月15日届出分)

白 取 國 洋 (80歳)	大 宮
奈 良 久 作 (90歳)	舞 戸 東 町
丸 山 ハルエ (89歳)	坂 本 一
豊 田 美 恵 (96歳)	本 町 一 丁 目
田 端 宏 子 (86歳)	漁 師 町
日照田 ミ ヨ (94歳)	一 本 杉
成 田 秀 雄 (84歳)	大 和 田
酒 井 豊 春 (93歳)	小 夜 宮
長谷川 義 勝 (93歳)	大 牛 島
今 仁右エ門 (88歳)	牛 島 町
千 葉 圭 子 (90歳)	浜 平 町
花 田 チ エ (79歳)	長 鬼 袋
三 上 た き (90歳)	鬼 牛 島
松 山 笑 子 (84歳)	牛 坂 本 一
齋 藤 テツエ (86歳)	坂 本 一
木 村 玲 子 (84歳)	舞 戸 東 町

鱒ヶ沢町の人口 (令和4年11月末現在)

男 4,213人(4,224 -11) 女 4,797人(4,808 -11)
計 9,010人(9,032 -22) 世帯数 4,401(4,414 -13)
※カッコ内は先月との比較

交通事故発生状況 (令和4年11月中)

発生件数 10件(+ 2) 死者数 0人(± 0)
傷 者 数 13人(+ 4) ※カッコ内は前年との比較
問 鱒ヶ沢警察署交通課 (☎72-2151)



法テラス鱒ヶ沢通信 Vol.86



良いお年を

2022年もあと数日となりました。皆さん、今年はどうな年でしたでしょうか。

今年は、年始の大雪、元総理の銃撃事件、8月の大雨など暗いニュースも多い年でした。

一方で、ここ数年、多くの人を悩ませてきた新型コロナウイルスについてはワクチン接種や治療薬の開発が進み社会問題としては解決の兆しが見えてきたようにも思えます。

来年は、どのような年になるでしょうか。できれば、旅行や会食を気兼ねなく楽しめるようになってほしいですね。

弁護士 遠藤 弘士



遠藤弁護士

【法テラス鱒ヶ沢法律事務所の概要】

- ◆所在地 〒038-2761
鱒ヶ沢町大字舞戸町字後家屋敷9-4
鱒ヶ沢町総合保健福祉センター内
- ◆業務時間 月～金 9:00～17:00
(土・日・祝日は休業)
- ◆電話番号 050-3383-8369

- ◆業 務
- ①法律相談 (面談による相談。★事前予約制★)
 - ・有料での法律相談
 - ・無料法律相談 (収入や預貯金が少ない方。ただし、刑事事件に関する相談は対象外。)
- ※65歳以上のご高齢の方、障がいや病気で外出ができない方など、法律事務所へ赴くことが困難な場合には、弁護士による出張法律相談ができる場合があります。お気軽に法テラス鱒ヶ沢法律事務所までお電話ください。

- ②事件の受任
訴訟手続代理業務や債務整理代理業務など

～鱒ヶ沢町にお住まいのみなさまへ～

弁護士に相談することなのか分からない場合でもお気軽にお電話ください!!
お待ちしております。



駅前広場のイルミネーションとつくしの森の園児

鱈ヶ沢駅前周辺をイルミネーションで装飾

JR鱈ヶ沢駅前周辺では、12月2日から、約2万7,000個のLED電球を使用したイルミネーションが点灯し、訪れた人々を楽しませています。

これは、コロナ禍で静まり返った町に笑顔と元気を取り戻そうと町が2年前から始めたもので、今年は8月の大雨で被災した舞戸地区復興の願いも込められています。

12月2日、駅前広場で行われた点灯式で、平田町長は「イルミネーションが、長引くコロナ禍や8月の大雨災害に負けじと頑張っている皆さんの心の癒しになれば」と挨拶しました。

続いて、認定こども園つくしの森（小野ユミ園長）の園児が点灯ボタンを押すと、イルミネーションが一斉に輝きだしました。装飾された緑やピンクに輝くイルミネーションを見た観客からは歓声が上がっていました。

訪れた方からは「明かりが灯った瞬間感動した。見に来てよかった」といった声が聞かれ、イルミネーションを背景に写真を撮る人の姿もありました。

また、町商工会の協力により、町内23店舗が白や青のイルミネーションで店頭を照らしています。

冬を迎え、空気の澄んだ夜の鱈ヶ沢を鮮やかに彩るイルミネーションをぜひご覧ください。

鱈ヶ沢駅周辺イルミネーション
 期間 令和5年1月31日（火）まで
 時間 16：30～21：00

鱈ヶ沢高校魅力化推進に向けた協定を締結

12月6日、青森リゾート株式会社（ケビン・チェン代表取締役社長）と鱈ヶ沢高校（川浪泰浩校長）、町は「青森県立鱈ヶ沢高等学校魅力化推進に関する連携協定」を締結しました。

これは、鱈高の部活動を魅力化するために、青森リゾートのゴルフ場などの施設を有効活用し、鱈高への入学人数増加を目指すとともに、青森リゾートの活性化も目的としています。青森リゾートでは、鱈高ゴルフ部への練習場所提供のほか、ビジネスマナー習得をねらいとした鱈高生のインターンシップなどを予定しています。

川浪校長は「これを機に鱈高や町の活性化につなげていきたい」と話していました。



左から上園副総支配人、川浪校長、平田町長

2023年版 青森県民手帳鱈ヶ沢町版を販売中です!!



数量限定で青森県民手帳鱈ヶ沢町版を販売しています。2023年は白神山地が世界自然遺産登録30周年を迎える節目となることから、表紙は30周年を記念するプリントとなっています。

【価 格】700円（税込）
 【販売場所】菊谷書店、海の駅わんど内シーポップ、鱈ヶ沢町観光案内所

今年の色は、**仏ヶ浦ブルー**、**白神グリーン**、**菜の花イエロー**、**さくらピンク**、**マグロブラック**の5色です。

※鱈ヶ沢町版は数量限定販売です。売り切れの際はご了承ください。
 問政策推進課 政策調整班(☎335)